フジ・メディア・ホールディングス

【プレスリリース】
フジテレビ：映画関連

2025 年 9 月 29 日
株式会社フジ・メディア・ホールディングス

【フジテレビ】是枝裕和監督最新作『箱の中の羊』
綾瀬はるか・大悟（千鳥）を主演に迎え 2026 年公開決定

是枝裕和が原案・監督・脚本・編集のオリジナル映画『箱の中の羊』
“少し先の未来”を舞台に描いた新たな家族の物語
綾瀬はるか・大悟（千鳥）が夫婦役を演じる

当社子会社の株式会社フジテレビジョン（フジテレビ）は、是枝裕和が原案・監督・脚本・編集を務めるオリジナル映画『箱の中の羊』を 2026 年に全国公開することを発表しました。



是枝監督作品は、これまでに『そして父になる』（2013）でカンヌ国際映画祭の審査員賞を受賞、『万引き家族』（2018）ではカンヌ最高賞であるパルムドールを受賞するという栄誉に輝き、『ベイビー・ブローカー』（2022）ではエキュメニカル審査員賞を受賞し、主演のソン・ガンホは韓国人俳優として初となる最優秀男優賞を受賞。また前作『怪物』（2023）では、クィア・パルム賞を受賞し、タッグを組んだ脚本家・坂元裕二は脚本賞を受賞し大きな話題となりました。

現代社会やそこに生きる人々を鋭い視点と温かい眼差しで描き作品を作り上げてきた是枝監督が今回選んだ舞台は、そう遠くない未来。ある夫婦が、ヒューマノイドを息子として自宅に迎え入れるところから物語は始まります。

これまでも、映画をはじめテレビドラマや配信ドラマでオリジナル作品や原作作品の制作、国境を越えたコラボレーションなど、常にチャレンジを続けてきた是枝監督が、“少し先の未来”を舞台に描く、新たな家族の物語に期待が膨らみます。

さらに、この物語を紡ぐ重要な夫婦を演じる主演 2 人の情報も解禁。ヒューマノイドを息子として迎え入れることになった建築士の甲本音々（こうもとおとね）役を綾瀬はるかが、音々の夫で工務店の二代目社長・甲本健介（こうもとけんすけ）役を千鳥の大悟が演じます。大悟は本作が初の映画主演作となります。

妻・綾瀬はるか、夫・大悟、息子・ヒューマノイドという意外性に富んだ新たな家族を是枝監督がどう描くのか？

「星の王子さま」からインスパイアされたという作品タイトル『箱の中の羊』とは――？続報にも是非ご注目ください。

＜原案･監督･脚本･編集　是枝裕和氏　コメント＞

今回の企画の出発点は、最新のテクノロジーで＜死者を蘇らせる＞という発想からでした。
数年前から日本のテレビ番組でもそういった企画があり注目を集めていましたし、テクノロジーの進化と人間の内面的なものが衝突することに対する賛否についても題材として興味を持ちました。
去年の春には中国で＜死者の蘇り＞のビジネスが人気だという記事を読み、秋にそのビジネスをしている方にお会いし、これは今後日本でも起きる可能性があり、想像以上のスピードでテクノロジーが進化しているので、思ったよりも早くそういう事態が到来するなと感じました。

クランクインして 3 週間近く経ちますが、ヒューマノイド役の少年が人懐っこくて、朝来ると大悟さんの坊主頭をなでなでしているほど懐いていて、彼の存在が大きく和やかな現場です。
久しぶりの綾瀬さんは、相変わらずチャーミングでとても素敵です。今回は感情の変化が難しい役なので、現場でも言葉の一つ一つをどのように届けていくか、人物像含めて一緒に話し合ってやっていこうと思っています。

大悟さんは、存在感があり、歩き方が独特で、人間味があってすごくいい顔をされています。
70 年代の日本映画界にいた俳優さんのような顔だなと。芸人さんやミュージシャンには勘が良く、間合いの取り方がうまく、掛け合いのお芝居が上手な方が時々いらっしゃいますが、大悟さんはまさにそうでした。勘が当たりました。
子供ともそうですし、撮影現場の中で自分なりの表現を見つけてらっしゃるから、とてもすごいと思います。

綾瀬さんと大悟さん演じる夫婦には期待しかないです！この夫婦と人間ではないヒューマノイドの子供が一緒になった時に、あまり見たことない家族劇になるのではないかと思います。

＜主演　綾瀬はるかさん　コメント＞

『海街 diary』以来久しぶりの是枝監督作品ですが、変わらずとても和やかな空気が漂う現場でした。

初日は 1 カット1カット丁寧に撮影していき、その中で、音々（おとね）の気持ちにイメージが膨らみました。

今回一番楽しみにしているのは、大悟さんと夫婦役ができることです。
始めはわだかまりがある二人が、ヒューマノイドの子供を迎え、様々なことが起き、また心が通い合っていくというお芝居を大悟さんとしていく中で、音々自身がどう成長していくのかとてもワクワクしています。

大悟さんはテレビの中と印象そのままで、お会いした際「ごめんな、俺が夫で」と言われ、「えーそんな！」って。

とてもシャイな感じがしましたし、とても素敵な方だと思いました。

「少し先の未来」の物語ですが、夫婦の形や子供のこと、人と人の愛というのはずっと変わらない大事な部分だと感じながら演じています。きっと見終わった後に心が温かくなる作品になると思いますので、是非、楽しみにしていてください。

＜主演　大悟さん　コメント＞

クランクインです。ビビってます。

これだけの人と時間をかけて、今からすごいことが始まるんだなと楽しみは楽しみですが、大丈夫なんかな“ワシ”ってほうが大きいです。

奥さん役の綾瀬さんは本当にあのままというか、非常に明るい楽しい人でとても良かったと思っています。

一番最初にお会いしたときに「ごめんね、ワシがダンナ役で」と言ったら優しい顔で笑ってくださいました。

今日はまだ2人の芝居シーンをしていないので、今のところはただただかわいく、ただただ遠くから見ています。

是枝監督からは、あまり皆さんにしてるかはわかりませんが、「大悟さん、そんなにきっちりセリフ覚えなくても、僕が現場で耳打ちする感じでそれをそのまま自分なりにやっちゃってください」と言って頂きました。それは監督がこれまで子役に使ってた手法らしくて…。

そう仰っていただいて自由にやっていいんだなって、非常に気持ちが楽になりました、今のところは。

日頃は笑ってもらうお仕事をしていますが、大悟が出た、大悟がしゃべった、大悟が現れたで笑われないように頑張りたいです。あとは、監督にお任せします。どういうのが出るかなって、自分でも楽しみです。

概要

タイトル：　「箱の中の羊」
原案・監督・脚本・編集：　是枝裕和
主演：　綾瀬はるか、大悟（千鳥）
製作：　フジテレビジョン、ギャガ、東宝、AOI Pro.
配給：　ギャガ
配給協力：　東宝

©2026「箱の中の羊」製作委員会

【公式 HP】gaga.ne.jp/hakononakanohitsuji
【公式 SNS（X・Instagram）】@Hakohitsujifilm